

令和 3 年度 事業計画書

コロナ禍を乗り越え、地域とともに



名古屋商工会議所

Nagoya Chamber of Commerce & Industry

活 動
ACTIVITY

140 年目

会 員
MEMBERS

17,098

令和3年3月24日現在

コロナ禍を乗り越え、地域とともに

本所は令和3年に設立140周年を迎え、「中期計画 2021-2025」を策定。コロナ禍からの経済の回復と将来の飛躍（躍動し愛されるナゴヤの実現）に向け、「企業支援」・「地域振興」・新機軸「社会課題解決」の取り組みに注力する。

方向性① 地域の活力向上（中小企業の経営支援等）

コロナ禍の厳しい経済情勢が長期化し、企業の倒産や廃業が急増することを強く懸念。加速するデジタル化への対応が中小企業の急務。

企業の事業継続・発展支援とステージに応じたIT活用支援に取り組み、積極的に挑戦する企業を支え、地域の活力向上に全力を尽くす。

1. 中小企業の事業継続・発展

コロナ禍の克服に向け、補助金・給付金の相談体制強化や非接触(オンライン)での経営支援の充実・普及等、利便性と質の高い経営サポートに取り組む。また、附設の愛知県事業承継・引継ぎ支援センターにて、親族承継・第三者承継をワンストップで支援する。

2. 中小企業のIT活用

IT事業者とのマッチングやセキュリティ対策支援等のデジタル活用の個社支援と、初心者向けのIT活用講座やSNS/動画の活用講座等の取り組みのステージに応じた支援を実施。また、新設するクラウドファンディングサポートセンターにて、ITを活用した新たな挑戦を支援する。

3. ビジネスマッチング

メッセナゴヤ2021をリアルとオンラインとのハイブリッドにて実施。AIマッチングや未来交流ステーションの充実により販路拡大や新たなアライアンスを強力にサポートする。また、月例モノづくりマッチングOnlineや月例バイヤーズ商談会、アライアンス・パートナー発掘市を開催する。

4. 観光・誘客・交流

技術を活かした土産品を通じ名古屋の魅力国内外に発信する「^{たくみやげ}匠土産」、和菓子文化を観光の魅力に育てる「^{なごや}なごや菓八菓」、なごやめしを核としたワンハンドフード「^{ワンダー}ワンダーグルメ」等、アフターコロナを見据え、ナゴヤの魅力を掘り起し、磨きあげる取り組みを進める。

5. まちの賑わい増進

「まちなかマルシェ」等、都心部(名駅・伏見・栄)を一体で歩いて楽しい街にする取り組みを進める。な・ご・や商業フェスタ、プレミアム商品券事業等、商業・サービス業の振興に取り組む。

6. 実証実験・社会実験の推進

一事業者では対処が難しい社会課題の解決、新技術の社会実装等に向け、実証実験・社会実験を実施する。

7. 多様で才能ある人材を呼び込む取り組み

魅力溢れる街づくりや地域ブランド力の向上、なごのキャンパスを核とした魅力ある環境整備によって、多様で才能ある人材を呼び込む。

方向性② 新たな価値の創造

デジタル革命による産業の大変革が進み、当地主力の自動車産業は「百年に一度の大変革」期に。持続可能な社会の構築に向け、脱炭素等の環境対策が加速。地域の魅力づくりも、様々な資源の有効活用と課題の解決が重要。

新たな可能性を拓く取り組みと社会・地域課題の解決への取り組みを進める。

1. デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進・対応

ITツールの製品展示や事例紹介を行うDXワールドやデジタルフェア、シリーズ先端DX講演会の開催を通じ、デジタル化の進展で進む産業の大変革とDXへの対応に向けた支援に取り組む。

2. スタートアップ創出・育成

ニュービジネスフェア、ベンチャー大賞事業の開催・実施により、大企業・スタートアップ・ベンチャーキャピタル等のマッチング支援に取り組む。また、なごのキャンパスの運営を通じ、スタートアップ育成・振興と会員企業のイノベーション支援に取り組む。

3. 新結合(イノベーション)創出に向けた交流促進

新入会員交流会やオンライン交流会、異業種交流セミナーを通じた会員交流と、部会や若続会、女性会、中部ニュービジネス協議会等の活動支援(コミュニティの運営)を通じ、アライアンスの促進と新結合(イノベーション)の創出に取り組む。

4. 都心部水辺空間の新たな価値の創造

未知の可能性を持つ新堀川の将来ビジョン策定をはじめ、都心部の水辺空間を活かした新たな価値の創造と魅力ある街づくりに向けた取り組み(名古屋三川の魅力向上事業)を進める。

5. まちの新たな可能性を拓く取り組み

都市公園をはじめ、公共空間等を活用した新たな取り組みを推進する。また、アフターコロナを見据えた都市開発のあり方についての調査研究を進めるとともに、ナゴヤまちづくりプラットフォームの運営を通じ、エリアマネジメント団体の活動を支援する。

6. 環境対策・循環型経済の推進

産学連携クリーンテック技術展を通じ、環境負荷の少ない新技術の導入支援に取り組む。また、SDGsの周知・啓発やZEB等の創エネ、水素・バイオマス等の新エネ、省エネの取組事例や支援制度の情報提供を通じ、環境対策や循環型経済を推進する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

2027年のリニア開業は当地が一層発展するチャンスである一方、東京一極集中を加速させるリスクがある。

「躍動し愛されるナゴヤ」の実現に向け、地域の活力や発展を支える「人・企業・まち」の基盤整備・機能強化に向けた取り組みを進める。

1. 新たな軸となる産業の育成(雇用の受け皿の強化)

医療機器産業や航空宇宙産業、農業分野等への進出支援等、技術応用による多角化支援に取り組む。特に航空宇宙分野では国内外の大手航空宇宙関連バイヤー・代理店との商談が可能なエアロマート名古屋を開催し、技術力を保有する中小企業の販路開拓を支援する。CASE・MaaS等、次世代自動車分野では、MaaS Connect!等交流事業を開催するとともに最新動向のセミナーを開催する。

また、積層造形技術やロボット技術、大学・公設試験研究機関の保有する新技術の導入支援を通じ、モノづくりの高度化支援に取り組む。

2. 企業組織・人材の成長とリスクマネジメント

同一労働同一賃金等、改正労働法への対応や、共済・保険等を活用したリスクマネジメントを支援する。また、講習会・セミナーを通じた人材育成や福利厚生等の支援等、様々な観点から強い企業組織づくりに取り組む。検定試験のオンライン対応等、社会の要請や時代のニーズに応じた取り組みを進める。

3. 国際交流の再開と深化

名古屋市と共同開催する5Gを活用したオンライン国際交流事業や、海外企業とのオンライン商談会、会頭ミッション、ポートセールス、中小企業投資環境調査ミッションの派遣等、国際交流の再開と深化に向けた取り組みを進める。また、貿易証明のオンライン化に取り組む。

4. 陸・海・空のインフラ整備促進

中部国際空港二本目滑走路の早期整備、リニア中央新幹線早期開業、名古屋駅のスーパーターミナル化、道路ネットワークの拡充や名古屋港の高機能化等、当地のインフラ機能強化に向けた取り組みを進める。

5. パンデミック・大災害に強い社会の構築

国家機能のリダンダンシー(代替性)を高める東京一極集中の是正の取り組みを進める。また、BCP策定シリーズ研修会にて、感染症対策を含んだ企業BCP策定を、防災・減災カレッジ等により防災人材育成を支援し、パンデミック・大災害に強い社会づくりを進める。

効果・活動を波及させ、成果を高める取り組み

- ① 「躍動し愛されるナゴヤ」の実現、また東京一極集中の是正に向け、活動を連携・連動させ、一体で取り組みを進める。
- ② 政策要望や提言等による働き掛けにより、国・県・市との相乗効果を創出。企業活動の支援や魅力ある地域づくり、社会的課題の解決を加速させる。

- ③ 交流・商談事業等、強みを持つ取り組みの広域展開・広域連携を図る。
- ④ デジタル化・ペーパーレス化やデータベースを活用した実効性の高い情報配信・事業展開等、変化に対応し会員サービスを充実させる。

令和3年度
事業計画
【ダイジェスト版】



方向性① 地域の活力向上

コロナ禍の厳しい経済情勢が長期化し、まちの担い手である企業の倒産や廃業が増加することを強く懸念。加速するデジタル化への対応が中小企業の急務。

企業の事業継続・発展支援とステージに応じたIT活用支援に取り組み、積極的に挑戦する企業を支え、地域の活力向上に全力を尽くす。



1. 中小企業の事業継続・発展

(1) コロナ禍の克服に向けた支援

- ①オンラインを軸とした経営相談対応（経営相談のオンラインシフト）
- ②5支部、なごのキャンパス等を軸とした活力ある企業活動と地域づくり支援
- ③新型コロナウイルスに係る補助金・給付金の情報提供と相談対応



(2) 事業承継支援の強化・拡充

附設の愛知県事業承継・引継ぎ支援センターによる親族承継・第三者承継の一括支援

(3) 創業・経営革新・事業再生等、企業ステージに応じた支援

▶オンラインを軸とした経営相談対応（ウィズコロナの経営支援体制の構築）

新型コロナウイルス感染症拡大リスクを最小限に抑え、また事業者の利便性向上を図るため、**オンライン経営相談を充実**させるとともにプッシュ型アプローチを強化し、**広く普及**をさせる。

2. 中小企業のIT活用

(1) IT活用の個社支援

名古屋中小企業IT化推進コンソーシアム(Pit-Nagoya)の運営を通じ、各種相談対応や提案、マッチング等に取り組み、事業者のIT活用・デジタル化、それに伴うセキュリティ対策等に関する課題を解決する。



(2) ステージ別や分野別のIT活用・デジタル化の支援

取り組みステージに応じたIT活用支援や、SNSや動画、マーケティング等、分野(テーマ)に応じた学習・実践の機会を提供する。また、850社が活用するHP作成サービスの提供と活用サポートを継続し、当地中小・小規模企業のIT活用・デジタル化を支援する。

(3) ITを活用した新たな挑戦への支援

- ①クラウドファンディングサポートセンター（常設窓口）の設置

▶クラウドファンディングサポートセンター NEW!!

2020年度の「緊急アクション」の一環で実施した飲食店向けのクラウドファンディング支援で得たノウハウを活かし、様々な分野・業種におけるクラウドファンディングの取り組みを支援し、会員企業の挑戦をサポートする。

3. ビジネスマッチング

(1) 多様なビジネスマッチング機会の創出

- ①「メッセナゴヤ 2021(リアル&オンライン)」(11月)
リアル(11/10~11/13)とオンラインのハイブリッドにて実施。「AIマッチング」や「未来交流ステーション」等充実した機能・プログラムを通じ、新たな出会いを創出するとともに販路拡大を強力にサポートする。
- ②「アライアンス・パートナー発掘市」
- ③「売り込み!商談マーケット」
- ④「月例バイヤーズ商談会」
- ⑤「月例モノづくりマッチング Online」
- ⑥「ザ・ビジネスモール」(全国の商工会議所が連携したオンライン商談プラットフォーム)



▶月例モノづくりマッチング Online NEW!!

2020年度の「緊急アクション」の一環で実施したものを通常サービス化。本所議員や部会役員企業とのビジネスマッチングを促進し、域内経済循環を活性化させます。

4. 観光・誘客・交流

(1) アフターコロナを見据え、ナゴヤの魅力を引き起こし磨きあげる取り組み

- ①尾張名古屋の技術を活かした土産品を通じ名古屋の魅力国内外に広く発信する「**名古屋匠土産**」事業
- ②「名古屋地域の和菓子文化」を観光の魅力に育てることを目指す「**なごや菓八菓**」事業
- ③ワンハンドフードの開発と新たな観光スタイルの提案で街の賑わい創出を目指す「**ワンダーグルメ**」事業



(2) ブレジャー(Business×Leisure)の普及と推進

5. まちの賑わい増進

(1) 都心部(名古屋駅・伏見・栄)の街づくりの推進(「歩いて楽しい街」の実現)

- ①「まちなかマルシェ」等、伏見地区内における公共空間や青空駐車場の低未利用地を利用した取り組みの推進
- ②エリアマネジメント団体等が実施する地域イベントとの連携事業



(2) 域内経済活動の活性化/商業・サービス業の振興

- ①「な・ご・や商業フェスタ」
- ②プレミアム商品券事業

▶都心部(名古屋駅・伏見・栄)の街づくり推進(「歩いて楽しい街」の実現)

都心部における「道路空間の歩行者(優先の道)への再配分」や「次世代公共交通システム SRT の導入」等、名古屋市の「都心部まちづくりビジョン」・「SRT 構想」で示された方向性を支援・促進するとともに、「商業・サービス・娯楽・芸術文化・スタートアップ等を振興・促進する開発計画へのインセンティブの拡充」を求める等、「歩いて楽しい街」に向けた取り組みを進める。

6. 実証実験・社会実験の推進

(1) 新たな経済価値の発見、経済成長に向けた実証実験・社会実験の推進

- ①取組課題の選定と事業者と協働した取り組みの推進
- ②公共空間等を活用した実証実験の推進(「方向性②」にて記載)

▶実証実験・社会実験の推進 NEW!!

事務局による「実証実験・社会実験推進チーム(仮称)」を立ち上げ、取組課題を選定。課題に関連する行政等の機関、協働する事業者について調査し、実証実験・社会実験を立案する。その後、解決策を有する事業者のアイデアを募る等により事業体を組成し、実証実験・社会実験を実施。これらの活動を通じ、社会課題解決に向けた火付け役の役割を果たすとともに事業を軌道に乗せていく。

7. 多様で才能ある人材を呼び込む取り組み

(1) 魅力溢れる街づくりと地域ブランド力の向上

- ①観光・誘客・交流
- ②まちの賑わい増進
- ③都心部水辺空間の新たな価値の創造
- ④まちの新たな可能性を拓く取り組み
(いずれも「方向性①・②」にて記載)

(2) なごのキャンパスの活動を核とした多様で才能ある人材を受け入れる環境整備

(3) ダイバーシティ&インクルージョンに向けた取り組み

- ①行政と連携した男女平等参画や外国人活用、障害者雇用の取組支援

方向性② 新たな価値の創造

デジタル革命による産業の大変化が進み、当地主力の自動車産業は「百年に一度の大変革」期に。サステナブルな世界の構築に向け、脱炭素等の環款策が加速、地域の魅力づくりも、様々な資源の有効活用と課題の解決が重要。

新たな可能性を拓く取り組みと社会・地域の課題の解決への取り組みを進める。



1. デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進・対応

(1)効果的な IT ツールの提案等を通じた DX 推進支援 (「DX サポートプログラム」の展開)

- ①「DX ワールド」 ②「デジタルフェア」 ③「シリーズ先端 DX 講演会」

▶DX サポートプログラムの展開 NEW!!

中小企業が導入しやすい廉価で効果的な IT ツールの紹介を基本コンセプトとした「DX ワールド」や、中小・小規模企業の DX 推進に役立つタイムリーな情報の提供する「デジタルフェア」、次世代通信システムの展望等の最新の技術動向を紹介する「シリーズ先端 DX 講演会」等、充実した内容で DX 推進を支援する。



2. スタートアップ創出・育成

(1)大企業・スタートアップ・ベンチャーキャピタル等のマッチング支援

- ①MaaS 分野特化のビジネスイベント(※)
：「MaaS Connect!」

- ②新たなビジネスモデルを発掘し発信するビジネスイベント(※)
：「ニュービジネスフェア」

- ③「(CNB)ベンチャー大賞」 ④講演会・セミナー等

(※)講演会、企業プレゼンテーション、交流会にて構成。ニュービジネスフェアではベンチャー大賞最終選考会も実施。



(2)「なごのキャンパス」を通じたスタートアップ振興と中小企業のイノベーション支援

- ①サポートプログラムの実施
- ②交流促進事業
- ③なごのキャンパス入居企業等への個別相談対応・経営支援



▶スタートアップ創出・育成

連携やビジネスチャンスの拡大を促す様々なビジネスイベントを開催するとともに、革新的な新事業に挑戦する企業とその取り組みを顕彰するベンチャー大賞事業を実施し、大企業・スタートアップ・ベンチャーキャピタル(VC)等のマッチングを促し、当地のスタートアップの機運をさらに高める。

また、なごのキャンパスでのスタートアップ向けサポートプログラムにて人材活用や資金調達等についての情報交換の場を設けるほか、交流事業を通じ、なごのキャンパスを核としたスタートアップコミュニティの発展・発達を促す。

3. 新結合(イノベーション)創出に向けた交流促進

(1)多様な交流事業、コミュニティの運営支援

新たな価値の創造に向け、交流事業やコミュニティの活動を継続実施・支援する。また、デジタル化等の時代のニーズに合った運営に心掛け、双方向コミュニケーションの強化やサービスの向上に繋げる。

[交流事業] ①新入会員交流会 ②オンライン交流会 ③異業種交流セミナー

[コミュニティ・事業主体]①部会 ②若鯨会 ③女性会 ④eco クラブ ⑤メディカル・デバイス産業振興協議会
⑥名古屋中小企業 IT 化推進コンソーシアム ⑦名古屋都市再開発促進協議会
⑧中部ニュービジネス協議会 等

4. 都心部水辺空間の新たな価値の創造

(1)名古屋三川の魅力向上

- ①「新堀川将来ビジョン(仮称)」の策定
- ②新堀川沿川事業所との関係構築と活用気運の盛り上げ(アンケート調査、乗船イベント等)
- ③堀川、中川運河の行政等各主体の取組支援



▶「新堀川将来ビジョン(仮称)」の策定 NEW!!

沿川企業の事業所や行政等の参画を得て、「新堀川将来ビジョン検討会議」を設立し、令和3年度中の取り纏めを目指し、将来ビジョンを策定する。まだ見ぬ新堀川の活用の可能性を拓き、街の賑わい増進や魅力・都市ブランドの向上に貢献する。

5. まちの新たな可能性を拓く取り組み

(1)公共空間等を活用した取り組みの推進

- ①「公共空間活用検討委員会(仮称)」の設立(「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」内)
- ②公共空間や都心部低未利用地を活用したイベント実施等、まちの賑わい創造に向けた取り組みの実施・支援

(2)アフターコロナを見据えた都市開発のあり方についての調査研究

(3)多様な主体の活動を有機的に繋げる連携促進の取り組み

- ①「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」の運営を通じたエリアマネジメント団体の活動支援

▶公共空間等を活用した取り組みの推進 NEW!!

近隣住民や行政の理解を得た公共空間・低未利用地の活用に取り組むため、「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」内に「公共空間活用検討委員会(仮称)」を設立する。都心部の賑わい創出・街づくりの推進に向け実施した「まちなかマルシェ」(令和2年11月、於：伏見地区)で得た知見を活かし、活用に向けた機運醸成を図るとともに規制緩和等を働き掛け、まちの新たな可能性を拓く。

6. 環境対策・循環型経済の推進 (名古屋商工会議所環境行動計画(2019-2021)に基づき展開)

(1)SDGsの実現に向けた取り組み

- ①行政施策や身近な企業の取組事例紹介等を通じた SDGs の啓発(講演会、セミナー)
- ②省エネ・創エネ・新エネの促進支援(講演会、セミナー)
- ③海外環境ビジネス展開支援(諸外国行政官のカントリーレポート発表、日本企業との個別相談会)
- ④「eco クラブ」(再掲)の運営を通じた視察会、取組事例紹介等の実施



(2)環境ビジネス事業者の成長・発展支援

- ①環境分野でのビジネスチャンス創出(主に素材分野の交流を創出)
- ②大学等の技術シーズと企業ニーズのマッチング(「産学連携クリーンテック技術展」)



(3)名古屋商工会議所環境行動計画(2022-2024)の策定

▶環境対策・循環型経済の推進

日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言した。こうした動きを受け、持続可能な循環型社会の実現に資する技術シーズを企業や大学アカデミアが持ち寄り、紹介する「産学連携クリーンテック技術展」をはじめとしたマッチングイベントやセミナー等を実施していくとともに、第5期名古屋商工会議所環境行動計画(2022-2024)を策定(更新)し、着実に会員企業の持続可能な成長をサポートしていく。

1. 新たな軸となる産業の育成（雇用の受け皿の強化） -技術応用による多角化支援とモノづくりの高度化支援-

(1) 医療機器産業の振興

- ①新規参入・新規開発支援（基金活用による新規開発案件の掘り起こし、「医療機器参入サポート・デスク」の運営、医療関係者と事業者とのマッチング「メディカルカフェ」）
- ②販路拡大支援（医療機器メーカーとの商談会、国内医療機器関連展示会への団体出展支援）

(2) 航空宇宙産業の振興

- ①販路拡大・海外展開・ネットワーク形成支援（「エアロマート名古屋(Aeromart Nagoya)」, 「AEROSPACE&DEFENCE MEETINGS TORINO」関連オンライン交流事業、航空機産業ミッション、他地域航空機産業クラスターとの交流）
- ②エンジン・MRO分野参入促進（「航空機エンジン部品参入支援プログラム」等）

(3) 次世代自動車産業(CASE, MaaS)の振興

- ①情報提供とマッチング（最新動向セミナー、講演・プレゼン・交流会「MaaS Connect!」(再掲)）

(4) 農商工連携の推進（技術応用による多角化支援）

- ①参入企業支援（スマート農業セミナー、最先端農業現場視察、新製品企画提案会等）

(5) モノづくりの高度化支援

- ①積層造形技術活用支援（ミニ展示会&セミナー「アディティブワールド」）
- ②ロボット活用支援（事例紹介セミナー、視察会）
- ③特許活用支援（講習会、視察会、特許・発明相談会）
- ④大学研究施設との連携促進（施設見学、シーズ発表・交流、個別支援）
- ⑤公設試験研究機関の活用促進（研究成果発表・交流「明日を拓くモノづくり新技術 2021」）

▶ 技術応用による医療機器産業への進出支援と医療機器産業の振興

医療分野への新規参入を目指す企業と、大学病院等の医療関係者が自由な意見交換・交流を行う「メディカルカフェ」や、コーディネーターが相談に応じ伴走支援を行う「医療機器参入サポート・デスク」、筒井宣政基金活用を通じ、医工連携や具体的な新規開発の取り組みを支援する。

また、医療機器の製造販売業者等との商談会や、国内医療機器関連展示会への団体出展支援を通じ、医療機器はもとより医療現場で使用される様々な物品、アイテムの取引開始・拡大を目指す企業の情報発信と販路拡大の機会を提供する。

▶ エアロマート名古屋(Aeromart Nagoya)

国内最大級の航空宇宙分野ビジネスマッチング事業。国内外の大手航空宇宙関連メーカーのバイヤーや代理店等との商談の機会を創出し、技術力を保有する中小企業の販路開拓を支援する。

2. 企業組織・人材の成長とリスクマネジメント

(1) 人事労務の課題解決支援

- ①改正労働法への対応支援（労務個別相談会、「同一労働同一賃金」等の制度普及セミナー）
- ②労働安全衛生法への対応支援（各種健康管理サービスの提供）
- ③人材採用支援（企業等と学校法人との就職情報交換会、採用支援見本市、学生とのマッチング「モグジョブ」等）
- ④各種情報提供（健康経営セミナー、人材活用・採用セミナー等）

(2) 人の成長を促す講習会の実施／検定試験のオンライン化

(3) 共済制度の推進によるリスクマネジメント支援

3. 国際交流の再開と深化

(1) オンラインを活用した国際交流

- ①名古屋市と連携し、5Gを活用したオンライン国際交流事業
- ②海外企業とのオンライン交流会

(2) 国際交流・ビジネスの新たな可能性を拓く取り組み

- ①「会頭ミッション」 ②「ポートセールス」 ③「中小企業投資環境調査ミッション」
- ④業務提携関係にある海外団体との事業強化 ⑤海外企業とのオンライン商談会

(3) 貿易証明の発給とオンライン化

▶ 5Gを活用したオンライン国際交流事業 NEW!!

5G(第5世代移動通信システム)を活用したイタリア・トリノとの国際交流事業を名古屋市と共同実施する。アフターコロナを見据え、名古屋市の姉妹友好都市であるトリノとの関係強化を図るとともに当地の魅力をPRする。双方の音楽家の共演等、5Gが可能にする新たな取り組みに挑戦する。

4. 陸・海・空のインフラ整備促進

(1) 当地の産業や交流を下支えするインフラ整備推進に向けた継続的な活動(提言・要望等)

- ①中部国際空港(セントレア)の「利用促進」と「二本目滑走路早期整備への要望活動」
- ②リニア中央新幹線早期開業への働き掛け、名駅スーパーターミナル化への支援
- ③広域幹線道路ネットワークの整備促進（西知多道路、名岐道路、一宮西港道路等）
- ④名古屋港の機能強化
（金城、飛鳥ふ頭の整備事業促進、港湾のスマート化の支援の後押し、名古屋港の機能確保に向けた新たな土砂処分場整備の促進、防災機能の一層の強化と施設の老朽化対策の促進等）

5. パンデミック・大災害に強い社会の構築

(1) 国家機能のリダンダンシー(代替性)を高める東京一極集中是正の取り組み

「東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言」(2021年1月公表)にて示された「中部圏と名古屋が取り組むこと」に則った活動の推進

(2) 防災人材育成／企業防災力の向上

- ①「BCP策定研修会」（事業継続力強化支援計画(本所策定)に則した取り組み）
- ②「防災・減災カレッジ」・「BCP講習会」
- ③「安否確認アプリケーション」

名商組織の進化

変化に対応しチャレンジングな事業を実施する組織であるため、また会員サービスを充実させるために以下の取り組みを積極的に推進する。

- (1) 提言・要望活動の強化（国・県・市への要望、各種懇談会の実施）
- (2) デジタル化・ペーパーレス化など生産性向上の推進
- (3) データベースを活用した実効性の高い情報配信・事業展開
- (4) 全国の商工会議所とのネットワーク強化と連携した取り組みの実施
- (5) 地域・企業を支える事務局機能

令和3年度
事業計画
【詳細版】



目 次

方向性① 地域の活力強化

1. 中小企業の事業継続・発展 …1
2. 中小企業の IT 活用 …3
3. ビジネスマッチング …4
4. 観光・誘客・交流 …5
5. まちの賑わい増進 …6
6. 実証実験・社会実験の推進 …7
7. 多様で才能ある人材を呼び込む取り組み …7

方向性② 新たな価値の創造

1. デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進・対応 …8
2. スタートアップ創出・育成 …8
3. 新結合（イノベーション）創出に向けた交流促進 …9
4. 都心部水辺空間の新たな価値の創造 …9
5. まちの新たな可能性を拓く取り組み …10
6. 環境対策・循環型経済の推進 …10

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

1. 新たな軸となる産業の育成（雇用の受け皿の強化） …11
2. 企業組織・人材の成長とリスクマネジメント …13
3. 国際交流の再開と深化 …14
4. 陸・海・空のインフラ整備促進 …16
5. パンデミック・大災害に強い社会の構築 …17
6. 地域や会員企業の発展、課題の克服に向けた提言・要望 …17
7. 組織力強化に向けた取り組み …18

方向性① 地域の活力強化

1. 中小企業の事業継続・発展

(1) コロナ禍の克服に向けた支援

① オンラインを軸とした経営相談対応（経営相談のオンラインシフト）

新型コロナウイルス感染症拡大リスクを最小限に抑え、また事業者の利便性向上を図るため、オンライン経営相談を充実させるとともにプッシュ型アプローチを強化し、広く普及させます。

課題	対応		
従来の支援方法である「巡回」や「窓口」での相談対応が新型コロナウイルス感染リスクとなっている。また、中小・小規模事業者、そして本所のデジタル化の底上げの観点からも非接触（オンライン）による対応が必要。	相談対応の軸をオンラインへ移行し、事業者の利便性向上を図るとともに新型コロナウイルスへの感染を抑える。また、オンライン支援体制の充実により、気軽に相談できる商工会議所として、様々な経営課題を解決する。		
〔件数（延べ）〕			
	目 標	実績見込(R2)	実績(R1)
オンライン	200件	20件	—
巡 回	10,000件	8,000件	12,224件
窓 口	10,000件	18,000件	2,371件

② 5支部・なごのキャンパス等を軸とした活力ある企業活動と地域づくり支援

「身近な商工会議所」としての市内に5か所ある支部にて経営支援に取り組む。また、地域の事業を支援し、街づくりを側面支援する（「5.まちの賑わい増進」にて記載）。

「なごのキャンパス」のサテライトオフィス(令和元年10月設置)にて、起業家・スタートアップを中心に経営計画の策定や資金調達、知財相談等のニーズに応じたソフト面のサポートに取り組む。また、なごのキャンパス入居企業の協力を得て、「商品モニタリング」事業を実施し、消費者向けの商品開発等を希望する会員企業を側面支援する。

	目 標	実績見込 (R2)
なごの相談件数	150件	250件

③ 新型コロナウイルスに係る補助金・給付金の相談体制の継続

各専門家とのネットワークを活用しながら、事業者にあった補助金・給付金を提案し、申請をサポートする。

(2) 事業承継支援の強化・拡充

① 親族承継・第三者承継の一括支援

附設の愛知県事業承継・引継ぎ支援センターにて、親族承継・第三者承継を一括支援する。また、経営指導員の指導や事例紹介セミナー・個別相談会を実施し、事業承継への取り組みを促す。

	目 標	実績見込 (R2)
相談件数	250件	300件
M&A 成約件数	60件	57件
事業承継診断件数	250件	100件
補助金申請	10件	5件
税制申請	5件	2件

(3) 創業・経営革新・事業再生等、企業ステージに応じた支援

① 創業支援

創業手続きや事業を軌道に乗せるための事業計画作成等について、創業相談を実施する。また、「名商創業塾」（約70名への5日間の集中講座）、創業セミナー（本・支部で全6回）等の学びの機会を提供し、新規開業を促す。

	目 標	実績見込 (R2)
創業件数	100件	70件
創業相談件数	1,000回	1,500回

方向性① 地域の活力強化

②経営改善・経営革新支援

- ・小規模事業者経営改善資金（マル経融資）による金融支援
経営指導員の指導により経営改善を図る小規模事業者が利用できるマル経融資（小規模事業者経営改善資金貸付）について、一日公庫（相談会）の開催、巡回等を通じて活用を促進する。

	目標	実績見込 (R2)
推薦件数	250件	190件
一日公庫開催	10回	4回

- ・記帳指導

小規模事業者を対象に、記帳から決算・税務申告に至るまでを指導する。決算・申告時には税理士による記帳専門指導を行い、決算書・申告書の作成を指導する。

	目標	実績見込 (R2)
個別指導先数	170件	191件
記帳指導先数	300件	316件

- ・経営イノベーション

中小・小規模事業主の経営革新・経営力向上に向け、「通年・伴走型 WEB マーケティング支援事業」を実施する。（「2.中小企業のIT活用」にて記載）

	目標
支援先数	50件

- ・経営セミナー（10回）

中小・小規模事業主の経営革新・経営力向上に向け、各支部にて小規模事業者持続化補助金等をテーマとした経営支援セミナー実施する。

	目標	実績見込 (R2)
支援先数	10回	16回

- ・事業計画策定・補助金申請支援

自社の強みや弱みを把握した上で、事業見直しや新規事業に取り組んでいただくため、事業計画策定に関するセミナー・個別相談会を実施する。また、事業計画の策定や見直しのきっかけとして、各種補助金の申請支援を行う。

	目標	実績見込 (R2)
経営革新計画	20件	35件
経営力向上計画	5件	4件

③専門相談・専門家派遣

専門家（弁護士、税理士、社会保険労務士等）による定例の相談窓口や、専門家（中小企業診断士、税理士、技術士、IT化支援等）派遣により、専門的・実践的な指導アドバイスを実施する。

	目標	実績見込 (R2)
専門相談件数	930件	930件
専門家派遣件数	250件	230件

④事業再生支援

- ・愛知県中小企業再生支援協議会（国委託事業、本所付設）
経営状態が悪化し、財務上の問題を抱える企業の再生計画策定を支援する。
- ・愛知県経営改善支援センター（国委託事業、本所付設）
条件変更や新規融資等の金融支援に必要な経営改善計画の策定等を支援する。
- ・経営安定特別相談室

	目標	実績見込 (R2)
相談	150件	120件
再生計画	40件	6件
コロナ特例		55件

	目標	実績見込 (R2)
相談	200件	240件
経営改善計画	70件	34件
早期経営改善計画	120件	80件

(4)制度改正に伴う情報提供

働き方改革関連法等の労働法制や適格請求書等保存方式（インボイス）等の税制度、民法改正等の制度変更の円滑な対応に向けて、セミナー等を開催し情報提供する。

(5)企業 PR サポート

17,000 会員で組織するスケールメリットを生かし会員企業の PR を支援する。

①会員ボード

会報誌に会員企業のビジネストピックス・広告等を掲載するサービスを提供する。

方向性① 地域の活力強化

②ビジネス特鮮便

会報誌発送時に、会員企業の希望封入物を同封するサービスを提供する。

③メールマガジン「びゅー☆」

会員企業の情報をタイムリーに発信するメールマガジン。年 24 回配信する。

④プレスリリース・サポート

民間事業者と提携し、多数のマスメディアに対する情報発信を支援する。また、名古屋経済記者クラブ所属記者に情報発信する「メディア直行便」サービスを提供する。

⑤HP 作成サービス

オリジナル HP を作成できるシステムを提供する。また、「基礎講座」や個別の作成支援を通じ、デジタル活用を支援する。

	目標	実績見込(R2)
利用件数	880件	850件

⑥ザ・ビジネスモール

全国の企業との商談が可能なオンラインサービスを提供する。(前述)

	目標	実績見込(R2)
登録件数	5800件	5140件

⑦名古屋ビジネスドクターウェブ

会員の専門士業者を登録・検索できるオンラインサービスを提供する。

	目標	実績見込(R2)
登録件数	380件	372件

2. 中小企業の IT 活用

(1)IT 活用の個社支援

①「名古屋中小企業 IT 化推進コンソーシアム(Pit-Nagoya)」を通じた課題解決・個社支援

コンソーシアムに参画する IT 企業が相互に連携してお互いの商材を組み合わせ、関連する国の補助事業も活用しながら、中小企業が抱える経営課題の解決に直結する IT ソリューションを提供する。

	目標	実績見込(R2)
個別相談対応	20件	12件
IT 導入支援数	20件	-
参画 IT ベンダー数	50回	48件

(2)ステージ別や分野別の IT 活用・デジタル化の支援

様々なセミナーや小規模の実践型講座等を開催する。

①IT 活用セミナー (3 回)

コロナ禍の中、活用が進んだ様々なツールやアプリケーションへの対応を見送っていた事業者を対象に、「今更聞けない!? ビジネスへの IT 活用セミナー」を開催する。

- テーマ(予定) ▶ オンライン会議 (Zoom 等) の活用・実践
 ▶ クラウドサービスの活用
 ▶ テレワーク導入 等

②オンラインビジネス講座(仮称) (5 回)

セミナーによる情報提供と自身のスマートフォンや PC を使った実習を通じた IT ツールの活用法を学ぶ機会を提供する。日常生活にスマートフォンを利用しているがビジネス活用ができていない初級者を主な対象とする。

- テーマ(予定) ▶ オンラインセミナーを実施方法と講師としてのノウハウ
 ▶ 自社商品の写真・動画撮影と編集
 ▶ SNS(Google マイビジネス・Instagram、LINE、YouTube)を活用した世界への発信
 ▶ EC への挑戦 (出店準備, 写真・動画撮影, SNS 発信)
 ▶ インフルエンサーから学ぶ「バズる写真撮影ツアー」

③マーケティング研究会(仮称) (6 回)

新たなマーケティング戦略の立案と、具体的な実務としてのデジタルデータ活用や SNS 等の新たなツールの習得を支援する。本所の商談事業を活用する経営者・営業担当者等を主な対象とする。

- テーマ(予定) ▶ 現状の分析、既存マーケティングの見直し

方向性① 地域の活力強化

- ▶ターゲット分析、販路分析
- ▶最新のマーケティングトレンド、事例研究
- ▶デジタルデータ活用
- ▶各社の課題に合わせた解決策（SNS運用、販促ツール分析等） 等

④通年・伴走型 WEB マーケティング支援サービス（通年、随時サポート）

店舗型ビジネスを行う経営者を主な対象とした有料・会員制（サブスクリプション）のマーケティング支援サービスを提供する。Eラーニング、対面セミナー、オンライン質問応対等の複合的なサービスを通じ、一年を通して伴走型の支援に取り組む。

- 内 容(予定)
- ▶会員限定 YouTube による WEB マーケティングセミナー
テーマ（予定） ・コンテンツマーケティング ・SEO 対策
・ブログ活用法 ・SNS 運用法 等
 - ▶対面セミナー（12回）
 - ▶WEB セミナー

⑤HP 作成サービス（再掲）

HP 作成サービス（利用者：約 850 社）を提供するとともに、活用サポートを通じ、当地中小・小規模企業のデジタル対応力を底上げする。

⑥各種セミナー

- ・テーマ「デジタル情報の活用と知財」等

様々な電子化ドキュメントやビックデータの活用等にて、著作権侵害のリスクが高まっているところから、DXの時代に企業が求められているデジタル文献やビックデータの最適な活用について学ぶセミナーを開催する。

(3)IT を活用した新たな挑戦への支援

①クラウドファンディングサポートセンター

IT を活用した新たな挑戦の支援として、クラウドファンディングサポートセンター（常設窓口）を設置する。相談内容（会員ニーズ）に応じ、クラウドファンディング（CF）の登録サポートや、CF 成功に向けた専門家のアドバイスや PR 画像等の作成・提供を行う。

	目 標
支 援 件 数	10 件

(3)IT ツールの導入支援とデジタル・トランスフォーメーション（DX）に向けた最新情報の提供

DX サポートプログラムとして、「DX ワールド」や「デジタルフェア」、「シリーズ先端 DX 講演会」を開催する。（「方向性② デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進・対応」にて記載）

3. ビジネスマッチング

(1)多様なビジネスマッチング機会の創出

①メッセナゴヤ 2021(リアル&オンライン)

日本最大級の異業種交流展示会メッセナゴヤをリアル(11/10～11/13)とオンラインのハイブリッド形式にて開催(場所:ポートメッセなごや)する。「AI マッチング」や「未来交流ステーション」等、充実した機能・プログラムを通じ、新たな出会いを創出するとともに販路拡大を強力にサポートする。

	目 標	オンライン実績 (R2)
出展者数	1,200 社・団体	576 社・団体
来場者数	50,000 人	9,666 人

②アライアンス・パートナー発掘市（1回）

事前調整型の商談会。県内 21 会議所との共催のほか、浜松商工会議所等他地域の団体と連携して開催する。

	目 標	オンライン実績 (R2)
参加企業	800 社	537 社
商談件数	1,000 件	556 件

方向性① 地域の活力強化

③売り込み！商談マーケット（1回）

「買い手」の小売バイヤーがブースを構え、「売り手」側がブースを訪問し、売り込みをする「逆見本市」の商談会。主に近隣の百貨店やスーパー等の小売業バイヤーへの販路開拓を目的に開催する。

	目標	実績見込 (R2)
商談件数	160件	150件

④月例バイヤーズ商談会（10回）

全国小売バイヤーを招聘（or オンライン）して、事前調整型の個別商談会を開催する。会員中小企業が全国の有効バイヤーと商談できる機会を毎月1回程度ペースで設けることで販路開拓を強力に支援する。

	目標	実績見込 (R2)
商談件数	120件	150件

⑤月例モノづくりマッチング Online（15回）

「新たな仕入先の発掘や技術課題を解決できるパートナーを探したい」、「サプライチェーンの再構築のため国内の新たな調達先を開拓したい」という大手・中堅企業と、新たな取引先を求める中小製造業とのマッチングを図るオンライン商談会を開催する。

	目標
商談件数	150件

カテゴリー① 「本所議員企業・部会役員企業」と「中小会員企業」とのマッチング

カテゴリー② テーマ別マッチング（例：半導体製造、自動化、ロボット・IT化等）

⑥他地域商工会議所とのオンライン情報交換・商談会

「アライアンス・パートナー発掘市」の小規模版として、オンラインの情報交換・商談会を他地域の商工会議所との連携のもと実施する。

	目標	実績見込 (R2)
商談件数	100件	103件

⑦ザ・ビジネスモール

全国の商工会議所が連携し運営するオンライン商談プラットフォームを提供する。（再掲）

	目標	実績見込 (R2)
登録件数	5,800件	5,140件

⑧産業分野・国別等の販路拡大支援

- ・医療機器：医療機器メーカー等との商談会、展示会団体出展支援
- ・航空宇宙：エアロマート名古屋
- ・IT：展示会団体出展、Pit-Nagoya を通じたマッチング
- ・国際オンライン商談会：（対象国調整中）

4. 観光・誘客・交流

(1)アフターコロナを見据え、ナゴヤの魅力を掘り起こし磨きあげる取り組み

（ナゴヤ土産・グルメの新・定番づくり）

①名古屋匠土産

尾張名古屋の技術を活かした土産品を通じ名古屋の魅力を国内外に広く発信する「名古屋匠土産」事業を推進する。令和2年度に新たに加わった3品を含めた計6品の販路拡大・PRに向け、11月に35年ぶりに愛知県で開催される「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」等で展示販売を行い、全国にアピールする。

②なごや菓八菓

市内小売業等のバイヤーと入賞企業等との商談を開催し、販路拡大を支援する。また、市内文化イベントや久屋大通公園等でのイベントといった催事と連携したプロモーションに取り組む。

③ワンダーグルメ

令和2年度に試作販売した「ワンハンドフード」の定番商品化を目指す。また、新たなモデル地域にてワンハンドフードを取り扱う店舗の拡大を図る。これらの活動を通じ、新たな観光スタイルの提案で街の賑わい創出を目指す。

方向性① 地域の活力強化

(2) ブレジャー(Business×Leisure)の普及と推進

アフターコロナを視野に入れた取り組みとして、国内外から名古屋地域に訪れるビジネス客を主な対象に、ビジネスでの訪問機会をレジャーに結びつける「ブレジャー (BLEISURE)」を推進する。各関係機関との連携による戦略的・効果的な取り組みにより、買物や食事、宿泊、土産品購入等の観光面での消費拡大を図る。

(3) 産業観光への取り組み

① 産業観光推進懇談会(AMIC)

加盟館同士の情報交換と連携促進のため、意見交換会(2回)及び研修会(2回)を実施する。また、加盟館に働きかけ、ニーズの高い体験型コンテンツの充実を図るとともに、「ナゴヤ産業観光 Navi (AMIC 加盟館の施設・イベントの紹介サイト)」や SNS(Instagram)を通じた情報発信を行う。

② 産業観光フォーラム

(公社)日本観光振興協会中部支部との共催にて、「産業観光フォーラム」を開催する。

③ 産業観光を支える機能の強化

工場見学・企業視察の受け入れと観光をワンストップで対応するコーディネート機能を高める取り組みを進める。また、「名古屋匠土産(たくみやげ)」や「なごや菓八菓(かやか)」の製造体験・現場見学や産業観光施設のバックヤード見学等独自のコンテンツをツアー化し、提供する。その他、「ものづくり文化再発見!ウォーキング」を通じて、産業・歴史・街道観光の普及を図る。

5. まちの賑わい増進

(1) 都心部(名古屋駅・伏見・栄)の街づくりの推進(「歩いて楽しい街」の実現)

都心部3地区がそれぞれの個性を伸ばしながら一体で発展すれば、全国にも例のない規模と魅力を持った「歩いて楽しい街」となる。そのため、名古屋市が策定し推進する「都心部まちづくりビジョン」に協力するとともに、名商が立地する伏見地区を中心に、都心部の魅力向上に取り組む。

① 伏見地区内における公共空間や青空駐車場等の低未利用地を利用した取り組みの推進

エリアマネジメント団体と連携した「まちなかマルシェ」等、伏見地区内における公共空間や青空駐車場等の低未利用地を利用した取り組みを推進する。

② エリアマネジメント団体等が実施する地域イベントとの連携事業

ユニークベニュー(※)等にて、実施される地域イベントと連携した取り組みを進める。
※博物館や美術館、城郭等、参加者にサプライズを与えるような特別な会場のこと

(2) 域内経済活動の活性化/商業・サービス業の振興

① な・ご・や商業フェスタ

市内の百貨店、商店街、チェーンストア等により実行委員会を組織し、参加店による共同懸賞セール・各種イベントを一体となって実施する。

② プレミアム商品券事業

市内の百貨店、商店街、商工会等と共に実行委員会を組織し、名古屋の消費拡大、さらには地域経済の活性化に資することを目的に、市内の小売・サービス業店舗で利用できるプレミアム商品券を発行する。

方向性① 地域の活力強化

③地域振興・交流・経営支援に関する支部活動

中央支部	名古屋駅太閤通口まちづくり協議会「名駅西 TSUBAKI フェスタ」「まちづくり塾」への参画
	中村区役所と連携した「中村めし」開発プロジェクトの推進
大曽根支部	「大曽根ビジネス倶楽部」の実施・運営
	「きた・きたフェスタ（北区区民まつり）」への参画
星ヶ丘支部	「ビジネスネット@星ヶ丘」による地域事業者ネットワークの構築
	覚王山商店街と連携した覚王山「春祭」「夏祭」「秋祭」への参画
新瑞支部	あらたま経営計画策定個別セミナー（新瑞経営塾）
	「あらたまグランバスタウン」活性化支援事業
金山南支部	「ものづくり研究会」の運営支援
	金山南地区商店街活性化事業
	中川区地産地消支援事業（「中川ブランド野菜製品研究会」活動）
	「あった会（熱田区内企業の異業種交流団体）」の運営支援

④祭り事業への参画

商店街や団体と連携し、祭りやイベントの開催を通じ商業振興を図る。

（ナゴヤ・エキトピアまつり、円頓寺七夕まつり、広小路夏まつり、にっぽんど真ん中祭り、名古屋まつり等）

(3) 名古屋駅のスーパーターミナル化と周辺地域整備

リニア開業を見据え、名古屋駅における他の交通機関との乗換や中部国際空港へのアクセス性等の利便性向上等、交通結節機能を一層強化していくため、「名古屋駅のスーパーターミナル化」に向けた整備が市を中心に官民で推進されている。名商としては「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の考え方を踏まえ、必要な意見、提言を行うとともに、プロジェクト推進に協力する。

6. 実証実験・社会実験の推進

(1) 新たな経済価値の発見、経済成長に向けた実証実験・社会実験の推進

①取組課題の選定と事業者と協働した取り組みの推進

事務局による「実証実験・社会実験推進チーム（仮称）」を立ち上げ、取組課題を選定。行政等の課題に関連する機関、協働する事業者について調査し、実証実験・社会実験を立案する。その後、解決策を有する事業者のアイデアを募る等して事業体を組成し、実証実験・社会実験を実施。これらの活動を通じ、社会課題解決に向けた火付け役の役割を果たすとともに事業を軌道に乗せる。

②公共空間を活用した実証実験の推進

「方向性② 5.まちの新たな可能性を拓く取り組み」にて記載

7. 多様で才能ある人材を呼び込む取り組み

(1) 魅力溢れる街づくりと地域ブランド力の向上

- ①観光・誘客・交流
- ②まちの賑わい増進
- ③都心部水辺空間の新たな価値の創造
- ④まちの新たな可能性を拓く取り組み

(2) なごのキャンパスの活動を核とした多様で才能ある人材を受け入れる環境整備

運営に参画する「なごのキャンパス」を核とした活動により、「魅力ある」、また「面白い」環境を生み出し、起業家や高度 IT 人材をはじめとする多様で才能ある人材を当地に呼び込み、受け入れる。

(3) ダイバーシティ&インクルージョンに向けた取り組み

行政と連携し、「男女平等参画社会」の実現や、外国人活用、障害者雇用への取組支援を行う。

方向性② 新たな価値の創造

1. デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進・対応

(1)効果的な IT ツールの提案等を通じた DX 推進支援「DX サポートプログラム」の展開

①DX ワールド

中小企業が導入しやすい廉価で効果的な IT ツールの紹介を基本コンセプトとした小規模展示会・講演会のハイブリッド事業「DX ワールド」を開催する。

	目 標	実績見込 (R2)
参加者	400 名	(新規)

※令和2年度は「IT ワールド」を開催

②デジタルフェア (2 回)

中小・小規模企業の DX 推進に役立つタイムリーな情報を提供する。

	目 標	実績見込 (R2)
参加者	200 名/2 回	200 名/3 回

③シリーズ先端 DX 講演会 (2 回)

次世代通信システムの展望等の最新の技術動向を紹介する。

	目 標
参加者	200 名/2 回

2. スタートアップ創出・育成

(1)大企業・スタートアップ・ベンチャーキャピタル (VC) 等のマッチング支援

①MaaS Connect!

MaaS 分野特化のビジネスイベント「MaaS Connect!」を中部ニュービジネス協議会との共催にて開催する。注目度の高いテーマでの基調講演や、スタートアップによるプレゼンテーション、交流会で構成し、大企業・スタートアップ・VC 等が出会い、連携のきっかけとなる場を創出する。

②ニュービジネスフェア

当地産業に親和性の高い先端テーマでの基調講演や、ベンチャー大賞最終選考会、交流会で構成するビジネスイベント「ニュービジネスフェア」を中部ニュービジネス協議会と共催にて開催する。本事業を通じ、新たなビジネスモデルを発掘し広く発信する。

③(CNB)ベンチャー大賞

革新的な新しい事業に挑戦する企業によるニュービジネスを公募し、事業の成長性や社会への貢献度を評価し表彰することによって、ニュービジネス活動への取り組みを称えるとともに、起業を目指す人にとって目標となるモデルを示し、当地区における起業家精神の高揚を図る。

④講演会・セミナーによる最新動向の情報提供と機運盛り上げ

(2)「なごのキャンパス」を通じたスタートアップ振興と中小企業のイノベーション支援

①サポートプログラム (3 回)

ベンチャー・スタートアップに多い課題 (資金調達、人材活用) をテーマに他地域のスタートアップ拠点との交流・研鑽事業を行う。

②交流促進事業 (5 回)

なごのキャンパスを拠点としたビジネス交流の活発化に向けた事業を実施する。

③なごのキャンパス入居企業等の個別相談対応・経営支援 (「方向性①地域の活力強化」にて記載)

方向性② 新たな価値の創造

3. 新結合(イノベーション)創出に向けた交流促進

新たな価値の創造に向け、交流事業やコミュニティの活動を継続実施・支援する。また、デジタル化等の時代のニーズに合った運営に心掛け、双方向コミュニケーションの強化やサービスの向上に繋げる。

(1) 多様な交流事業の実施

① 新入会員ウェルカムセミナー (2回)

第一部を各種事業ガイダンス、第二部を交流会で構成した新入会員歓迎事業を実施する。本所事業活動への理解を促進し、様々な事業・サービスを活用頂くきっかけとする。

	目標	実績見込 (R2)
参加者	300名/2回	(中止)

② オンライン交流会 (6回)

中小企業のオンライン会議(会議)の実践の場として、また本所の活用方法を学ぶ機会として開催する。ジャンルやテーマ毎に実施をすることで参加者同士の交流・ネットワーキングを促進する。

	目標
参加者	60名/6回

③ 異業種交流セミナー (3回)

会員企業の経営者並びに担当者の横のつながり形成を目的に時宜に応じたテーマでセミナーと交流会を開催する。

	目標	実績見込 (R2)
参加者	120名/3回	100名/3回

(2) コミュニティ (事業主体) の運営・運営支援

① 部会

業種・業態別の21の部会にて、説明会や講演会、視察会等、個性豊かな事業を実施する。

② 若鯨会 (会員数約500名)

若手経営者・後継者による日本最大級の異業種交流会「若鯨会」にて、経営者の資質向上、企業の持続的発展及び地域の活性化を目的に、セミナーや研修会等を開催する。

③ 女性会 (会員数約50名)

女性経営者が自らの知識や経営能力をより一層高めるとともに、会員相互のネットワークを広げ、当地域を発展させることを目的にセミナーや親睦事業を開催する。

④ eco クラブ

⑤ メディカル・デバイス産業振興協議会

⑥ 名古屋中小企業 IT 化推進コンソーシアム

⑦ 名古屋都市再開発促進協議会

⑧ 中部ニュービジネス協議会 等

4. 都心部水辺空間の新たな価値の創造

(1) 名古屋三川の魅力向上

① 「新堀川将来ビジョン(仮称)」の策定

沿川企業の事業所や行政等の参画を得て、「新堀川将来ビジョン検討会議」を設立し、令和3年度中の取り纏めを目指し、将来ビジョンを策定する。まだ見ぬ新堀川の活用の可能性を拓き、街の賑わい増進や魅力・都市ブランドの向上に貢献する。

② 新堀川沿川事業所との関係構築と活用気運の盛り上げ

「新堀川沿川事業所基礎調査」のデータを活用し、新堀川の認知度や活用アイデアに関するアンケート調査を実施する。また沿川事業所等を招いた乗船イベントやセミナー、イベント等を実施し、上記将来ビジョンの策定に役立てる。

③ 堀川、中川運河の行政等各主体の取組支援

方向性② 新たな価値の創造

5. まちの新たな可能性を拓く取り組み

(1) 公共空間等を活用した取り組みの推進

① 「公共空間活用検討委員会(仮称)」の設立（「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」内）

近隣住民や行政の理解を得た公共空間・低未利用地の活用に取り組むため、「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」内に「公共空間活用検討委員会(仮称)」を設立する。都心部の賑わい創出・街づくりの推進に向け実施した「まちなかマルシェ」（令和2年11月、於：伏見地区）で得た知見を活かし、活用に向けた機運醸成を図るとともに規制緩和等を働き掛け、まちの新たな可能性を拓く。

② 公共空間や都心部低未利用地を活用したイベント実施等、まちの賑わい創造に向けた取り組みの実施・支援

(2) アフターコロナを見据えた都市開発のあり方についての調査研究

地域開発委員会にて、本テーマについて調査研究を行う。

(3) 多様な主体の活動を有機的に繋げる連携促進の取り組み

① 「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」の運営を通じたエリアマネジメント団体の活動支援

街の魅力向上に向けて、都心部のエリアマネジメント団体の課題や成功事例を共有する場「ナゴヤまちづくりプラットフォーム」を運営するとともに、プラットフォーム内で「公共空間等の活用検討委員会(仮称)」(前述)を設立し、各団体の活動支援と連携推進に取り組む。

6. 環境対策・循環型経済の推進（名古屋商工会議所環境行動計画(2019-2021)に基づき展開）

日本政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「脱炭素社会の実現」を目指すことを宣言した。こうした動きを受け、持続可能な循環型社会の実現に資する技術シーズを企業や大学アカデミアが持ち寄り、紹介する「産学連携クリーンテック技術展」をはじめとしたマッチングイベントやセミナー等を実施していくとともに、第5期名古屋商工会議所環境行動計画(2022-2024)を策定(更新)し、着実に会員企業の持続可能な成長をサポートする。

(1) SDGsの実現に向けた取り組み

① 行政施策や身近な企業の取組事例紹介等を通じたSDGsの啓発

・講演会、セミナーの開催

② 省エネ・創エネ・新エネの促進支援

・講演会、セミナーの開催

③ 海外環境ビジネス展開支援

・諸外国行政官のカントリーレポート発表・日本企業との個別相談会

④ 「ecoクラブ」(再掲)の運営を通じた視察会、取組事例紹介等の実施

(2) 環境ビジネス事業者の成長・発展支援

① 環境分野でのビジネスチャンス創出(主に素材分野の交流を創出)

② 大学等の技術シーズと企業ニーズのマッチングイベント

「産学連携クリーンテック技術展」の開催

	目標	実績見込(R2)
産学連携技術展	450名	400名

(3) 名古屋商工会議所環境行動計画(2022-2024)の策定

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

1. 新たな軸となる産業の育成（雇用の受け皿の強化）

-技術応用による多角化とモノづくりの高度化支援-

(1)医療機器産業の振興

①新規参入・新規開発支援

- ・基金活用による新規開発案件の掘り起こし

筒井宣政基金を活用し、新たな医療機器の開発・改良を目指す企業の案件を募り、採択案件は、医療機器産業の法制度や業界構造を熟知したコーディネータによる伴走支援で、製品化・事業化をサポートする。

	目標	実績見込 (R2)
開発・改良 試作案件	3社	2社

- ・「医療機器参入サポート・デスク」の運営

新規参入ニーズの高まりと相談の多様化への対応に向け、サポート体制を強化し、新規参入の課題解決に向けた道案内を行う。また、医療機器関連他機関との連携を強化し、ニーズに応じた相談対応を行う。

- ・医療関係者と事業者とのマッチング「メディカルカフェ」

新規参入ニーズのある企業と大学病院等の医療関係者との連携に向け、カフェのような雰囲気の中で意見交換・交流を行える場を創出する。（メディカル・デバイス産業振興協議会として実施）

②販路拡大支援

- ・医療機器メーカー等との商談会

医療機器はもとより、医療現場で使用される様々な物品、アイテムの取引開始・拡大を目指す企業と、医療機器製造販売業者、販売業者等との商談会を開催する。商談をコーディネータがサポートすることで、より有意義で成立率の高い会を実現する。

- ・医療機器関連展示会への団体出展支援

各種学会、国内医療機器関連展示会へ団体出展し、会員に情報発信、ビジネス拡大の機会を提供する。

③メディカル・デバイス産業振興協議会を通じた情報提供とネットワーキング支援

会員ニーズにもとづき、各種セミナーを開催する。

テーマ例：新規参入、薬機法、人材育成、販売スキームと知的財産、製造販売業・販売業資格の取得

(2)航空宇宙産業の振興

①販路拡大・ネットワーク形成支援

- ・「エアロマート名古屋(Aeromart Nagoya)」(10/12~14)の開催と関連事業の実施

国内外の大手航空宇宙関連メーカーのバイヤーや代理店等との商談会「エアロマート名古屋(Aeromart Nagoya)」を開催する。また、開催・成功に向けて、当産業における最新テーマ等によるセミナーを開催するほか、サイバーセキュリティをテーマにした勉強会を開催する。

- ・「Aerospace & Defense Meetings Torino(11月)」関連オンライン交流事業

上記エアロマート名古屋や、イタリア・トリノとの5Gを活用したオンライン交流事業（「国際交流の再開と深化」にて記載）と関連した一連の事業として、「Aerospace & Defense Meetings Torino」にあわせたオンライン交流事業を実施する。

- ・航空機産業ミッションの派遣

- ・他地域航空機産業クラスターとの交流

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

②エンジン事業参入支援「航空機エンジン部品参入支援プログラム」（講座5回）

航空機エンジン分野への新規参入・ビジネス拡大を支援するため、サプライヤーが抱える課題（品質保証、図面解釈、難削材加工等）をテーマに、ワークショップや視察会等を盛り込んだ実践的な講座（全5回程度）を開催します。

(3)次世代自動車産業(CASE,MaaS)の振興

①情報提供とマッチング

- ・セミナー「シリーズ自動車産業大変革」
自動運転等に関する法規制の最新動向やCASEを実現する要素技術、国内外の市場動向・最新動向等の情報を提供する。
- ・「MaaS Connect!」（再掲）
MaaS分野に特化した講演・プレゼン・交流会で構成するビジネスイベントを開催する。

(4)農商工連携の推進（技術応用による多角化支援）

①参入促進と参入企業支援

- ・最新農業セミナー（2回）
「スマート農業」や「植物工場」をテーマにセミナーを開催する。
- ・最先端農業現場視察会
- ・農業施設メーカー視察会・新製品企画提案会の開催

(5)モノづくりの高度化支援

①積層造形技術活用支援（「アディティブワールド」の開催）

積層造形技術（3Dプリンタ）の技術動向や国内外動向、設備導入に関する補助金等に関するセミナーと展示会のハイブリッド事業「アディティブワールド」を開催する。

②ロボット活用支援

協働ロボットをテーマに活用事例や導入のポイントを紹介するセミナーを開催する。

③知的財産活用・リスク回避支援

「海外ビジネスと知財」や、「デジタル情報の活用と知財」といったテーマでセミナーを開催する。また、弁理士による特許・発明相談会（無料）を開始し、知的財産に関する課題解決をサポートする。

（一社）愛知県発明協会の活動を通じ、「少年少女発明クラブ」の活用を支援し、知的財産に関する理解の底上げや発明マインドの底上げに取り組むほか、「あいち少年少女創意くふう展※」を開催する。

※人材育成・科学技術や産業の振興に寄与することを目的に、
児童・生徒の作品を展示し、次代を担う青少年の創造性を啓発する事業

④大学研究施設との連携促進

大学の研究施設見学会・シーズ発表会を開催する。また、大学のパートナーとなる企業を募集し、大学との共同研究・開発に意欲ある企業を個別支援する。

⑤公設試験研究機関の活用促進

公設試験研究機関との共同研究や保有設備の活用に向け、研究成果発表会・施設見学会「明日を拓くモノづくり新技術2021」を開催する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

2. 企業組織・人材の成長とリスクマネジメント

(1) 人事労務の課題解決支援

① 改正労働法等への対応支援

- ・「同一労働同一賃金」等の制度普及セミナー（5回）
「同一労働同一賃金」、「労働時間の管理」、「育児休業」、「就業規則の見直し（テレワーク対応）」等をテーマにセミナーを開催する。
- ・労務個別相談会（計8日間）
雇用調整助成金をはじめとした助成金や、労務全般についての相談に専門家が対応する個別相談会を開催する。
- ・「働き方改革 BOOK」、「同一労働同一賃金まるわかり BOOK」PDF版の配布

② 労働安全衛生法への対応支援と健康経営の啓発

- ・各種健康管理サービス（9種類）の提供・斡旋
中小企業の経営者や従業員、その家族の「健康増進と福祉向上」を目的に、人間ドックや脳ドック等9種類の健康管理サービス事業を実施する。
- ・健康経営セミナー
会員企業の従業員の活力向上や組織の活性化に寄与する「健康経営」の普及を目的にセミナーを開催する。

	目標	実績見込 (R2)
健康管理サービス利用者	1,650名	1,650名

③ 中小企業の人材採用支援

- ・企業等と学校法人との就職情報交換会
新卒採用に取り組む中小企業と、学校法人（キャリアセンター）との関係構築を目的に就職情報交換会と交流会の2部構成にて実施する。新たに商業高校、工業高校等の「専門高校」を加えて、取り組みを充実させる。
- ・「採用支援見本市」（2回）
職業紹介はじめ、採用支援事業を営む民間事業者や団体をスピーカーに招いてのサービス紹介・マッチング事業を実施する。
- ・学生との懇談「モグジョブ」（36回）
学生と企業との気軽な交流を促すマッチングイベント「モグジョブ」を開催する。
- ・「採用ブランディング」セミナー（2回）
規模や知名度で不利な中小企業でも、安定的に人材を採用する手法「採用ブランディング」を学ぶセミナー、ワークショップを実施する。
- ・採用支援セミナー（3回）
中小企業の採用活動に役立つ情報や手法を学ぶ機会としてセミナーを開催する。
- ・中途採用支援サービス
再就職支援会社と連携して、会員企業と同社が支援する大手・中堅企業出身で経験豊富なキャリアを持つ中高年の求職者とのマッチングを実施する。
- ・各種情報提供（セミナーの開催、「外国人材活躍解説 BOOK」PDF版の配布）

④ 福利厚生への支援

会員事業所の福利厚生の充実を目的に CLUBCCI 等の提供のほか、会員事業所を対象に銀行系クレジットカードと提携したオリジナルカード「チェンバーズカード」を発行する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

(2)人の成長を促す講習会の実施／検定試験のオンライン化

①人材育成支援

- ・人材養成講習会の実施、各種検定試験の実施とオンライン化
企業の発展に不可欠な人材の育成を向け、年間を通じて各種講習会を開催する。新入社員をはじめ、管理者、営業担当者、中堅社員等階層別・業務別に講座を提供する。
また、簿記、珠算、日商プログラミング検定（新設）等各種検定試験・認定試験を実施するとともにオンライン化を進める。

	目標	実績見込 (R2)
講座数	45講座	42講座
講座参加者	1,210名	1,650名
検定受験者数	30,270名	31,250名

- ・名商パソコン教室
民間事業者と提携し、パソコン教室サービスを提供する。

	目標	実績見込 (R2)
利用者数	3,000名	3,100名

②女性の活躍推進に関する企業調査（名古屋市と共同）

名古屋市男女平等参画推進会議 策定「女性の活躍、ワーク・ライフ・バランスを推進する『名古屋モデル』」（2016年）の効果検証を目的として、地域の企業における認識と取組み状況を Web アンケートで調査する。

(3)共済制度の推進によるリスクマネジメント支援

①生命共済保険等各種共済制度の加入促進

加入者優待サービスの提供等の加入奨励策や職員による加入促進活動等を推進します。

制度名	目標 (加入者数)	実績 (R2) 見込加入者数
生命共済	11,800人	11,900人
特定退職金共済	21,200人	21,300人

②各種保険制度

ビジネス総合保険、海外 PL 保険、情報漏えい賠償責任保険、休業補償プラン、業務災害補償プラン、日商輸出取引信用保険、がん保険・医療保険、売上債権保全制度、集団扱損害保険

3. 国際交流の再開と深化

(1)オンラインを活用した国際交流

①名古屋市と連携し、5G を活用したオンライン国際交流事業

5G(第5世代移動通信システム)を活用したイタリア・トリノとの国際交流事業を名古屋市と共同実施する。アフターコロナを見据え、名古屋市の姉妹友好都市であるトリノとの関係強化を図るとともに当地の魅力 PR をする。双方の音楽家の共演等、5G が可能にする新たな取組みに挑戦する。

②海外企業とのオンライン交流会（1回）

航空宇宙分野において、「Aerospace & Defense Meetings Torino(11月)」にあわせたオンライン交流事業を実施する。（再掲）

(2)国際交流・ビジネスの新たな可能性を拓く取組み

①「会頭ミッション」の派遣

②「(海外)ポートセールス」の実施

※「陸・海・空のインフラ整備促進」にて記載

③「中小企業投資環境調査ミッション」

投資先としての関心が高まっているベトナム・ハノイ/ダナンの投資環境・人材の特徴等を調査する投資環境調査ミッションを派遣する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

④「グローバルフォーラム・ベトナム（仮称）」

中小企業投資環境調査ミッションに先立ち、ベトナム大使等を招聘したフォーラムを開催する。

⑤業務提携関係にある海外団体等との事業強化

台日商務交流協会および三三会とのMOU(基本合意書)を締結する。また、締結の機会を捉え、交流事業や視察事業等を実施する。

⑥在日外国公館との交流、新規公館誘致等

⑦海外企業とのオンライン商談会（1回）

事前調整型の商談会を実施する。また、商談相手国を学ぶセミナーや、オンライン商談のノウハウを学ぶ機会を提供する。

(3)海外展開の支援（貿易実務サポート等）

①海外ビジネスセミナー

海外での企業の事業展開に関する情報提供のため、海外ビジネス展開セミナーを開催する。

②海外展開アドバイザー紹介サービス

海外事業展開に関して、アドバイザー（海外展開支援の実績を持つ会員企業）による相談を仲介する。（初回無料）

③輸出入実務セミナー（2回）

初任者向けに貿易の実務を学ぶ機会を提供する。

④貿易実務セミナー（2回）

国際取引契約および外国為替をテーマにセミナーを開催する。

	目標	実績見込 (R2)
輸出入実務セミナー	200名	106名
貿易実務セミナー	100名	65名

⑤海外知的財産セミナー（1回）

世界の知的財産の潮流や海外ビジネスを行う上で不可欠な知財戦略のポイント等を解説するセミナーを開催する。

⑥証明はじめて相談デスク

4月より貿易関係証明書（非特惠）のオンラインによる申請・発給を開始することから、増加が見込まれる相談に対し、相談対応体制を整備・確立し、丁寧な個別対応を行う。

	目標	実績見込 (R2)
証明はじめて相談デスク	60件	40件
EPA 個別相談	25件	26件

⑦EPA 個別相談

(4)貿易証明の発給とオンライン化

①貿易関係証明書（非特惠）

4月よりオンラインによる申請・発給を開始する。窓口書面申請・発給併存させ、確実に証明を発給する。

②特定原産地証明書（特惠）

オンラインによる申請、書面発行。

	R3年度見込	実績見込 (R2)
貿易関係証明書	55,000件	52,000件
特定原産地証明書	28,000件	23,000件

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

4. 陸・海・空のインフラ整備促進

当地の産業や交流を下支えするインフラ整備推進に向けた継続的な活動(提言・要望等)

(1) 中部国際空港(セントレア)の「利用促進」と「二本目滑走路早期整備への要望活動」

① 利用促進活動

「中部国際空港利用促進協議会」を通じ、セントレアの優先利用を呼び掛ける、“フライ・セントレア”、“フライ・セントレア・カーゴ”活動を推進。航空ネットワークの拡大・維持のため、インバウンド及びアウトバウンド拡大の諸活動を実施する。

② 二本目滑走路早期整備への要望活動

リニア開業のインパクトを活かし、セントレアが社会・経済活動のグローバルな交流を支えていくためには、二本目滑走路(完全24時間化)をはじめとする機能強化の実現が不可欠。「中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会」(会長:大村愛知県知事)の活動をはじめ、地元関係機関が一丸となり、二本目滑走路の早期整備に向けて、政府・与党への要望活動を実施する。

(2) リニア中央新幹線早期開業への働き掛け、名駅スーパーターミナル化への支援

沿線9都府県の経済団体で構成される「リニア中央新幹線建設促進経済団体連合会」(本所が事務局)において、リニア早期全線整備(東京～名古屋～大阪)に向けた機運醸成の活動を実施する。

(3) 広域幹線道路ネットワークの整備促進

名古屋港や中部国際空港といった物流拠点、その機能を十分に発揮するためには、背後の産業集積地と直結する広域幹線道路ネットワークの整備が大変重要。当地のモノづくり産業の振興、国際競争力強化の観点から、西知多道路、名岐道路、一宮西港道路等の整備促進に向けて要望活動に取り組む。

(4) 名古屋港の機能強化と利用促進

① 港湾機能の拡充・強化

- ・金城、飛鳥ふ頭の整備事業促進
- ・港湾のスマート化の支援の後押し
- ・名古屋港の機能確保に向けた新たな土砂処分場整備の促進
- ・防災機能の一層の強化と施設の老朽化対策の促進等

② ポートセールス等の利用促進活動(再掲)

名古屋港のPRと現地港湾関係者や進出日系企業との情報交換・関係強化を目的に「名古屋港利用促進使節団(海外ポートセールス)」を派遣。また、国内の船社や物流事業者、港湾関係者等との関係強化を図る利用者懇談会、当地企業の新入社員の方に名古屋港への理解を深めていただく見学会(6回)等を開催する。

(5) 県営名古屋空港の利用促進

「県営名古屋空港協議会」において、コンピューター航空やビジネス航空等、小型機の拠点空港としての利活用を促進するための各種事業を実施。コンピューター航空では、就航先への愛知誘客キャラバン隊の派遣やWEBを通じたPR事業等を実施する。また、ビジネス航空では、CIQ(税関・出入国管理・検疫)の充実に国への要望活動を実施する。

(6) 愛知県商工会議所連合会を通じたインフラ整備・拡充の要望

県内22の商工会議所で構成する「愛知県商工会議所連合会」の会頭会議を通じ、愛知県知事及び幹部に対して、県内各地区の課題や問題意識を伝えるとともに、インフラ整備・拡充等を盛り込んだ「要望書」を手交する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

5. パンデミック・大災害に強い社会の構築

(1) 国家機能のリダンダンシー(代替性)を高める東京一極集中是正の取り組み

「東京一極集中の是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言」(2021年1月公表)をもとに、国家機能のリダンダンシー(代替性)を高める東京一極集中是正の取り組みを推進する。

(2) 防災人材育成／企業防災力の向上

① 「BCP 策定シリーズ研修会」 (5回)

本所策定の「事業継続力強化支援計画」に則し、感染症対策を含んだ BCP 策定の支援の取り組みとして、シリーズ研修会を開催する。

② 企業防災に関する啓発活動 (「防災・減災カレッジ」・「BCP 講習会」)

地域防災力の向上と防災人材の育成を目的とした「防災・減災カレッジ」を、県・市・愛知県商工会議所連合会・名古屋大学等との共催で開催。また、「あいち・なごや強靱化共創センター」との共催で、BCP 講習会を実施する。

③ 「安否確認アプリケーション」

南海トラフ大地震等への防災対策支援、事業継続計画 (BCP) の策定支援として、従業員安否確認支援ツール「名商安否確認アプリケーション」を提供する。

	目標	実績見込 (R2)
アプリ利用企業	36 社	33 社

④ 事業継続力強化計画策定支援

6. 地域や会員企業の発展、課題の克服に向けた提言・要望

(1) 国務大臣や知事・市長との懇談会等を通じた意見・提言の実現

① 日本商工会議所を通じた国務大臣との懇談会

② 大臣等政府要人、日銀総裁との懇談会

名古屋を訪れる機会を捉え、当地の経済状況や課題、中小企業・小規模事業者の実情を踏まえた、施策実施を求める要望を行う。

③ 愛知県知事・名古屋市長との懇談会

愛知県知事及び県幹部、名古屋市長及び市幹部との懇談会を開催し、当地経済の現状や課題を踏まえて、意見交換を実施する。

④ 中部地方整備局長との懇談会 (名古屋地域懇話会)

⑤ 日本銀行総裁との懇談会

⑥ 行政との勉強会

本所提言・要望の実行性の向上とネットワーク形成を目的に名古屋市の各部局との勉強会を開催し、それぞれの考えや方針について説明し、相互の理解を深める。

⑦ 一般社団法人日本経済団体連合会との意見交換 (東海地域経済懇談会)

(2) 中小企業対策・税制等に関する提言・要望活動

① 中小企業対策・税制に関する要望

2022 年度の中小企業施策や税制改正に関する要望を実施する。

② 愛知県ならびに名古屋市の施策に関する要望

愛知県ならびに名古屋市の 2022 年度の施策及び予算策定にあたっての要望書を取りまとめ、知事及び市長に提出する。

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

(3)委員会活動の活発化

(4)各種経済調査（を通じた的確な課題把握に基づく政策提言の実行）

当地域の景況や課題等を把握し、各種意見・要望、ならびに本所事業に活かすため、各種経済調査を実施。WEBを活用した「定期景況調査」（四半期毎）、「中小企業景況調査」（小規模事業者対象）、「景況ヒアリング調査」（企業等へのヒアリング結果のとりまとめ、四半期毎）等を実施する。

7. 組織力強化に向けた取り組み

(1)会員増強

①会員増強運動の実施

商工会議所の活動を支える組織基盤の強化のため、会員増強運動を強力に推進。本所役職員による積極的な勧誘活動はもとより、議員各位との連携による増強運動や専任の「ネットワーク推進室」による活動を実施する。

	目 標	実績見込 (R2)
新規入会	1,000 件	1,000 件

②入会専用ホームページの運営

(2)会員をはじめとする事業者とのコミュニケーション

①会員訪問プログラム

会員企業と円滑にコミュニケーションを図ることを目的として、職員が会員訪問を実施。訪問を通じて、本所の活動意義への理解浸透に努めるとともに、サービス利用を働きかける。

②会報誌「Nagoya」の発行

事業活動や経済・時事の話題等を提供する会報を編集・発行する。

③メールマガジンの発行

ハ→モニ→（総合型）、モノづくり関連事業情報、愛知の企業立地情報、海外展開支援、環境情報、組織力向上（人事・労務・福利厚生・交流）の6種類のメールマガジンにより事業・サービスや行政施策等の情報を発信する。

④ホームページの運営

本所サービスや入会メリット等をわかりやすく、的確に訴求できるようホームページを運営する。

⑤YouTube 名商公式チャンネルの運営

新たな情報発信・会員コミュニケーションのため、YouTube を利用し、名商の事業活動の紹介やセミナーの配信を行う。

⑥CRM 活用による会員コミュニケーションの拡充・発展、メルマガシステム改善

システムの制度設計・構築とデータ蓄積を進め、会員とのコミュニケーションを強化・発展させる。

⑦新入会員ウェルカムセミナー（年2回）

新入会員を対象に、名古屋商工会議所設立の由来、使命、役割や本所の様々な会員サービスの案内、及び新入会員相互の交流を目的に開催する。（再掲）

⑧WEB 広告等の活用

方向性③ 人・企業・まちの基盤整備

(3) スケールメリットを活かした会員サービス・情報提供・社会貢献

① 新春経済講演会

(一社) 中部経済連合会、中部経済同友会、愛知県経営者協会との共催により、著名ゲストを講師とした講演会を開催する。

② 税制改正説明会

次年度税制改正のポイントや企業経営実務に与える影響や留意点について説明会を開催する。

③ 日本銀行講演会

④ 電子認証事業の発行取次

⑤ 経済4団体新春賀詞交歓会

⑥ 叙勲並びに国家褒章受章者祝賀会等の開催

⑦ 新年議員懇親会(1月)、議員懇親会(9月)

⑧ 社会福祉事業の実施

守山・鳴海・有松の3商工会と共催で、市内の児童養護施設等の児童に対し、会員企業からの寄付金を贈呈する「施設児童に対するクリスマスプレゼント」を実施する。

(4) その他

① 愛知県商工会議所連合会(県内22会議所)の活動

愛知県知事をはじめ県幹部を招き、会頭会議を開催。中小企業対策やインフラ整備等各地域の重要課題について意見交換・要望を実施する。また、各会議所の中小企業支援分野の責任者会議や観光分野の担当者会議等を開催し、一層の連携強化、活動の充実を図る。

② 東海商工会議所連合会(東海3県49会議所)の活動

(一社) 日本経済団体連合会との意見交換の場である「東海地域経済懇談会」(2月)を開催する。

③ 少年少女発明クラブ支援(愛知県発明協会の活動)

少年少女発明クラブ同士の交流会を開催し、クラブ間の情報共有の場を設けます。また、クラブ員等が“発明”した作品を広く紹介する「あいち少年少女創意くふう展2021」(10-11月)を開催する。

④ 国内外企業誘致の推進

愛知県内の自治体と商工会議所で組織する愛知県産業立地推進協議会を通じ、首都圏・西日本の企業の当地進出を促進する産業立地セミナーを東京と大阪で開催する。また、県内企業の再投資を促進する県施策説明会や用地情報・インセンティブを取りまとめたガイドブックの発行、メルマガを配信する。その他、愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター(I-BAC)を通じ、外資系企業の当地進出を促進する。

発行日 令和3年3月

発行  **名古屋商工会議所**
Nagoya Chamber of Commerce & Industry

〒460-8422 名古屋市中区栄 2-10-19

電話 052-223-5719

URL <https://www.nagoya-cci.or.jp/>